

骨盤領域の強度変調放射線 治療 (IMRT) における iViz air の役割

～効率的な運用を目指して～



Lecturer
K. Kawano

40分

受講料
無料

日時

2022年 10/14(金) 19:00～19:40

申込締切

2022年 10/7(金)

定員

1,000名 ※定員となり次第お申込みを終了させていただきます。

費用

無料

申込

専用申込フォームからお申込みください。
(<https://bit.ly/3yndcW3>)

申込フォームはこちらからも
アクセス可能です。



— 河野先生からのメッセージ —

骨盤領域の強度変調放射線治療(IMRT)においては、腫瘍の位置変化を把握し、正常組織への照射を避けるために、膀胱や直腸の状態を管理することはとても重要となります。

また、放射線治療装置および機器の進歩やコロナの影響もあり、前立腺に対する治療においては、一回の線量を多くして回数を少なくする寡分割照射や体幹部定位照射が注目されるようになり、これまで以上に膀胱や直腸の状態管理が必要となってきます。

これまで、照射直前にCone-beam CT (CBCT)を撮影して腫瘍照合および膀胱や直腸の状態確認をおこなってきましたが、尿量が適正でない場合や便・ガスが存在した場合には調整後に再度CBCTを撮影するため、患者の被ばくと業務効率が低下するというデメリットがありました。そこで当院においても携帯型超音波装置を用いて、CBCT撮影前に膀胱および直腸の状態を把握することで患者の被ばく低減、業務効率の向上に繋げており、今回は導入から臨床での運用例などをお話できればと考えております。

講演時間
40分

演者 河野 一洋 先生

大阪府済生会中津病院 放射線治療技術部
放射線治療室 室長

※ 受講に伴う通信費は受講者のご負担となります。
通信環境の良いところでご受講されることをお勧めいたします。

主催：富士フイルムメディカル株式会社
超音波事業部 fms-ivizair@fujifilm.com